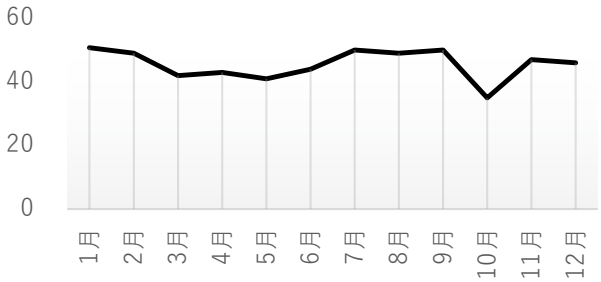
浜松医療センター

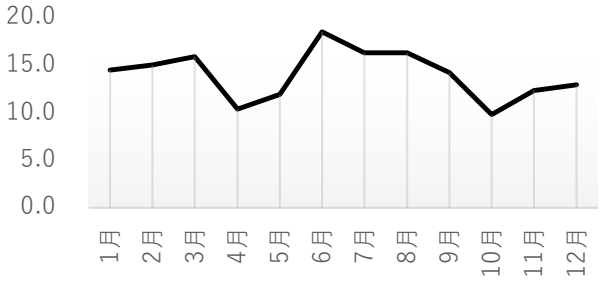
病床数	12床
常勤医師数	4名
指導医数	3名
非常勤医師数	1名
外来コメディカル	7名

診療実績			
	外来	入院	
	1日当たり外来患者数	入院日数	1日当たり入院患者数
1月	51	8	14.5
2月	49	6	15.0
3月	42	8	15.9
4月	43	7	10.4
5月	41	7	11.9
6月	44	8	18.5
7月	50	6	16.3
8月	49	7	16.3
9月	50	7	14.2
10月	35	6	9.8
11月	47	6	12.3
12月	46	6	12.9
年間平均	46	7	14.0

1日当たり　外来患者数



1日当たり　入院患者数



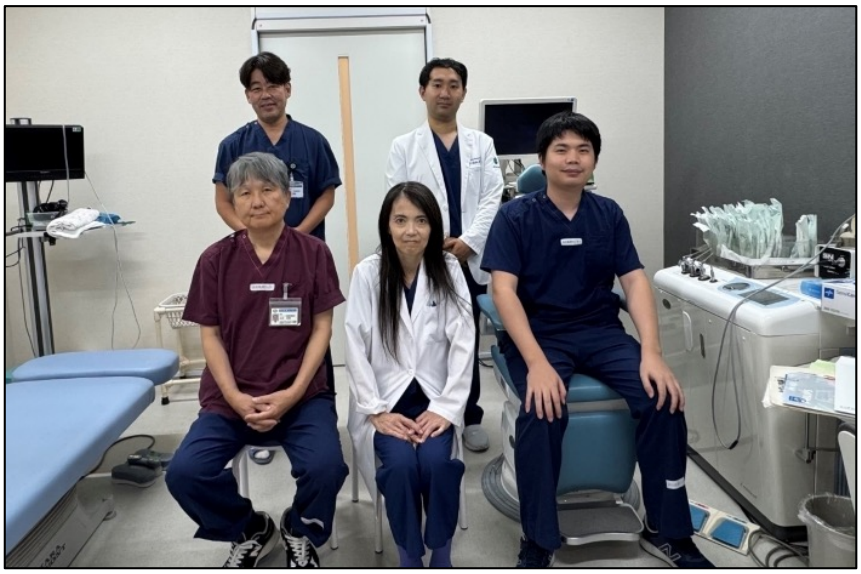
全身麻酔症例数　356　例

耳科手術		181	件
鼓室形成術		39	件
	慢性中耳炎	15	件
	真珠腫性中耳炎	24	件
鼓膜チューブ挿入術		45	件
人工内耳手術		0	件
アブミ骨手術		4	件
顔面神経減荷術		2	件
先天性耳瘻管摘出術		6	件
外耳道形成術		5	件
鼓膜形成術		1	件
乳突削開術		20	件
試験的鼓室開放術		1	件
中耳根本術		0	件
内リンパ嚢開放術		0	件
聴神経腫瘍摘出術		0	件
鼓膜切開術		24	件
耳管閉鎖		1	件
耳管補鉄材留置術		24	件
鼓膜穿孔閉鎖術（リティンパ）		9	件
鼻科手術		270	件
内視鏡下鼻・副鼻腔手術		134	件
鼻中隔矯正術		55	件
鼻甲介切除手術		74	件
視神経管開放術		0	件
涙嚢・鼻涙管手術		0	件
眼窩吹き抜け骨折手術		0	件
顎・顔面骨折整復術		4	件
鼻・副鼻腔良性腫瘍摘出術		3	件
鼻・副鼻腔悪性腫瘍摘出術		0	件
口腔咽喉頭手術		204	件
扁桃摘出術	口蓋扁桃摘出	136	件
	アデノイド切除	35	件
舌、口腔、咽頭腫瘍摘出術		12	件
口蓋垂・軟口蓋形成術		9	件
舌・口腔良性腫瘍摘出術		6	件
舌・口腔悪性腫瘍摘出術		0	件
咽頭良性腫瘍摘出術		1	件
咽頭悪性腫瘍摘出術		0	件
喉頭微細手術		6	件
嚥下・誤嚥防止、音声改善手術		8	件
	嚥下機能改善	2	件
	誤嚥防止	1	件
	音声機能改善	5	件
	（うち声帯ポリープ切除）	4	件
喉頭形成術		3	件
喉頭截開術		0	件
頭頸部手術		139	件
頚部郭清術		5	件
顎下腺	良性腫瘍	1	件
	悪性腫瘍	0	件
耳下腺	良性腫瘍	4	件
	悪性腫瘍	2	件
甲状腺	良性腫瘍	21	件
	Basedow病手術	3	件
	悪性腫瘍	19	件
喉頭	悪性腫瘍	1	件
リンパ節生検術		22	件
頸部嚢胞摘出術		1	件
顎下腺摘出術		1	件
食道異物摘出術		0	件
気管異物摘出術		0	件
異物摘出術（外耳・鼻腔・咽頭）		26	件
気管切開術		26	件
上皮小体過形成手術		4	件
深頸部膿瘍切開術		3	件
			件
			件
			件
			件
			件

学会発表			
発表日	学会名	筆頭演者	演題名
2025/5/24	静岡手術手技研究会	水田邦博	師より学ぶ：心技継承低侵襲と究極の低侵襲
2025/5/29	日本耳鼻咽喉科学会総会	荒井真木	耳管ピン挿入困難例の対応
2025/6/26	耳鼻咽喉科臨床学会	荒井真木	好酸球性中耳炎の鼓膜穿孔にリティンパ®を使用した一例
2025/7/3	耳管開放症研究会	荒井真木	耳管開放症診断における運動負荷の有用性の検討
2025/10/31	日本耳科学会総会	荒井真木	耳管由来の他覚的耳鳴を聴く弛緩部型真珠腫症例の検討
2025/10/31	日本耳科学会総会	水田邦博	弛緩部型真珠種手術指導のための一案

原著論文（邦文）	題名	雑誌名	巻	号	Page
水田邦博	鼻すすり癖例における弛緩部型真珠腫の術式選択	Otol Japan	35		
水田邦博	鼓膜穿孔閉鎖の治療～鼓膜炎との関連について	Otol Japan	35		
水田邦博	弛緩部型真珠腫Ⅰb症例の鼓室圧を考慮した保存治療について				

講演	題名	学会研究会名
水田邦博	タイパ最高！15分で滲中まるわかり：小児滲出性中耳炎診療ガイドラインの勝手な解釈	Med Cent会
荒井真木	地域医療連携病院におけるSAS外来の役割	浜松睡眠時無呼吸連携の会
荒井真木	甲状腺未分化癌に対するビラフトビ、メクトビの使用経験	甲状腺癌の薬物治療
水田邦博	困難症例と術前術後ICの注意点	日本耳科学会耳管ピン講習会
水田邦博	耳管機能検査と耳管開放症の治療	日本耳鼻咽喉科秋季大会
水田邦博	『臨床は大切、研究はもっと大切』をみんなで科学する（日常の耳診療から）	HOC
加藤照幸	当院での好酸球性副鼻腔炎治療戦略	CRS　wNP Expert Seminar in 浜松
加藤照幸	好酸球性副鼻腔炎における診断から治療の流れを考える	CRS Expert Seminar in 名古屋



歴代科長

S58.4.1～　宇佐神篤
H13.4.1～　大川靖弘
H16.4.1～　植田洋
H19.12.1～　荒井真木

在籍された先生

藤川和成、伊藤久子、岩崎幸司、船井恒喜、和田好弘、井本正利、田中祝子、中崎浩一、佐藤守彦、鈴木一元、橋本泰幸、大嶋吾郎、榎本美紀、泉智沙子、三澤由幾、野田和洋、大山和可子、加藤照幸、杉山夏樹、山田智史、森田皓太朗、下平有希、水田邦博、福田彩、名倉悠真、小黒美樹、山田大喜、増田守、山口裕貴、吉見亘弘、大石宏虎、植田翔（採用順）

病院の歴史・コメント

昭和47年11月	財団法人浜松市医療公社設立
昭和48年 4月	本館（現在の1号館）280床で開設
昭和50年 7月	2号館：210床増築開設　合計490床
平成7年 4月	3号館（110床）増床開設　合計600床
平成23年 4月	病院名称変更（浜松医療センター）
平成25年 4月	公益財団法人浜松市医療公社へ移行
令和2年8月	新型コロナウイルス感染症重点医療機関指定
令和5年2月	日本医療機能価機構3rdG：Ver2.0の認定を受ける
令和6年1月	新病棟（A棟）開院
令和8年6月	新病棟（B棟）開院

初期はアレルギーを専門にされた宇佐神篤先生が鼻疾患、免疫療法などを広くおこなっていました。長きにわたり岩崎幸司先生が右腕となり活躍されていました。お二人の先生が開業され、大川靖弘先生が受け継いでからは、悪性腫瘍を含めた幅広い分野に取り組まれました。このころから若手医師が派遣され、研修鍛錬する病院になりました。その後を引き継いだ植田洋先生は頭頚部腫瘍を専門とし、手術も積極的に行っていましたが、何よりもその明るく優しい人柄は看護師やコメディカルから絶大なる人気を得て、耳鼻科のイメージアップに貢献いただきました。その後の2年間は女性医師3名の華やかな時代でした。2016年水田邦博先生が赴任し、中耳手術センターが開設されました。令和6年に新病棟が開院し、時代ともに変遷してまいりましたが、いついかなるときも同門の先生方のお力添えの賜物と感謝申し上げます。